



学校教育目標：自ら鍛え 自ら磨く ～つよく かしこく やさしい子～

# Kumasan

令和4年4月22日

学校だより 5月号

熊野第三小学校

校長 和田 愛

HP <http://kuma0316.ec-net.jp>

本日は、今年度初めての授業参観日でした。一つ大きくなったお子様の学ぶ姿はいかがでしたでしょうか。実際にご覧いただけましたこと、大変有難く思います。保護者の皆様には、お忙しい中をお越しいただきましてありがとうございます。

今年度も、学校での感染や拡大リスクを可能な限り低減した上で、教育活動を進めてまいります。これから、ゴールデンウィークも始まります。ご家庭におかれましても、お子様やご家族の皆様も含め、健康管理にご協力をよろしくお願いいたします。

## ☆ 今年度も、「向上心を高める」ことに焦点化して

本校で遊び 学び 育つ子供たちに、「向上心」（何度でもあきらめずにチャレンジする子）、「分かるできる力」（学びを深める子）、「表現力」（分かりやすく伝える子）、「思いやり」（優しく接する子）、この4つの力を育むことを目指しています。

「向上心」は、お子様の内面から沸き起こる自発的な気持ちです。人から強制されたから仕方なくやるという気持ちは、向上心とは異なります。目標が小さいとすぐに達成できてしまうため、向上心を失ってしまいがちです。しかし、大きすぎる目標を掲げると、向上のための努力を続けることができず、挫折してしまいます。

私たち教職員は、お子様の今ある姿をしっかりと見つめ、発達の伸びしろを見通し、お子様の自発的な学びの展開の中で、向上心を育てていくことに努めます。

また、子供たちにとって分かりやすく学びやすい環境づくりと友だちとの人間関係づくり、寄り添った言葉かけや関わり方を心掛け、お子様が、「明日も学校に来たいな」「友だちと一緒にうれしいな」「勉強するって楽しいな」「学校っていいな」と思えるような、そんな時間を焦ることなく、じっくりと作っていくことに努めてまいります。

## ☆ 乳幼児期からの育ちや学びをつなぐ

子供を基点に考えると、子供の発達や育ちに切れ目はありません。小学校に入学した子供たちは、保育所や幼稚園、家庭などで育まれた力を働かせて、新しいことへと向かっていきます。子供の育ちと学びは連続していて、小学校入学はゼロからのスタートではないと言われています。特に大きく環境が変わる保育所や幼稚園から小学校、小学校から中学校、中学校から高等学校は、より丁寧に育ちや学びをつないでいくことが求められています。

子供が学校に合わせて準備するのではなく、子供に合わせて準備できる学校でありたいと思います。4月20日には、熊野町内の園所・小学校・中学校・高等学校の先生方に、入学当初の子供たちの様子を参観いただきました。

コロナ禍ではありますが、今後もできるところから少しずつ、育ちや学びをつなぐ取組を進めていきたいと思っています。



## ☆民生委員さんのあいさつ運動

4月11日（月）朝早くから民生委員さんがあいさつ運動に来てくださいました。学校が始まったばかりの子供たちは元気よく張り切って、民生委員さんにあいさつをしました。オレンジの服でさわやかにあいさつをしていただき、児童は民生委員さんから元気をいただいたようです。お忙しい中、朝早くから学校に足を運んでいただき、ありがとうございました。



## ☆幼保小中高連携教育推進協議会がありました！

4月20日（水）に第1回幼保小中高連携教育推進協議会がありました。熊野町では、幼保小中高のスムーズな接続が行われるように、先生方が互いに情報共有をしたり、授業を公開したりして連携を図っています。4月のこの時期は、幼稚園・保育園で培った経験や育ちが活かされるよう、朝の時間をゆったりと取り、徐々に小学校の生活に慣れていくようなカリキュラムを組んでいます。



友達や先生とコミュニケーションを図るあいさつやゲーム、読み聞かせなどを朝の会や授業の中に取り入れ、楽しい時間や聞く時間の活動などに、1年生は一生懸命取り組んでいます。この日は、お世話になった幼稚園・保育園の先生方に見て頂くということもあり、ニコニコ顔で張り切って活動をしました。ちょっぴりお兄ちゃん・お姉ちゃんになって頑張る姿を幼稚園・保育園の先生に見てもらって、ご機嫌の1年生でした。

## ☆あさがおの種をまきました。



4月20日（水）1年生があさがおの種をまきました。土を入れ、指で種を入れるところを作り、なくさないように丁寧に種を入れ、優しく土をかぶせました。「芽がでますように！」と願いながらたっぷりと水をあげました。これから、毎日の水やりと観察が始まります。どきどき、ワクワクいつ芽がでるか、何色のあさがおの花が咲くのか楽しみです。